

肥料成分値の自動入力用 QR コード作成アプリの使い方

1 アプリの概要

「肥料成分値の自動入力用 QR コード作成アプリ」は、本アプリと同じウェブサイトで農研機構が公開した「汚泥肥料、菌体リン酸肥料の肥効見える化アプリ」を便利にご利用いただくための補助的なアプリです（図 1）。

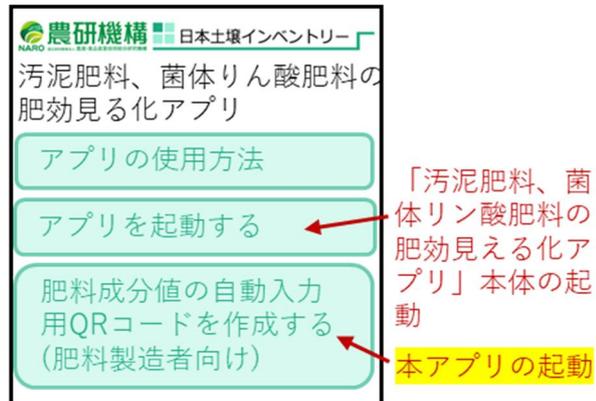


図 1 2つの関連アプリ

汚泥肥料等の養分含量を、既に分析し、把握されている肥料製造者様にご活用いただくことを想定しています（図 2）。

肥料を製造する方が、お手持ちの肥料の窒素、リン酸、カリウムの含量等を本アプリに入力し、QR コードを発行



QR コードを肥料販売時に配付



肥料を購入した方が、QR コードをパソコン等で読み込むと、QR コードに保存された肥料の成分含量が入力済みの状態で「汚泥肥料、菌体リン酸肥料の肥効見える化アプリ」が起動

図 2 本アプリ活用の流れ

2 アプリ利用上のポイント

1) 汚泥肥料の種類は、6種類から、製造方法として最も近いものをご選択ください。

2) 肥料の種類を選択すると、その下の全ての項目（肥料の含水率、ADSON 含量、全窒素含量、無機態窒素含量、リン酸含量、リン酸の肥効率、カリ含量、カリの肥効率）に、仮の値として、平均的な成分含量が入力されます。

- ・なお、用語や単位については、別紙「汚泥肥料、菌体りん酸肥料の肥効見える化アプリ活用マニュアル」に解説しています。
- ・お手持ちの分析値とアプリに表示される平均的な成分値が1桁以上違う場合は、お手持ちの分析値の単位とアプリの単位に違いが無いか、よくご確認ください。
- ・肥料現物重量あたりと、肥料乾物重量あたりの値の違いにも、ご注意ください。

3) 各成分の数値を、お手持ちの実測値に書き替えてください。なお、未入力の項目が1つでもあると QR コードが作成できませんので、実測値の無い項目は、平均的な成分量のまま書き替えずにご利用く

- ・ADSON 含量を全窒素含量から概算で推定する方法を上記マニュアルに記載しています。ADSON 含量を未計測の場合はぜひご活用ください。

ださい。

4) カリ肥効率の下にある緑色の「QR コードを作成する」ボタンを操作ください。画面左側上部（アプリ起動時点では灰色の四角が表示されている場所）に、QR コードが表示されます。

3 QRコードの活用、留意点

作製された QR コードは肥料袋に貼り付ける、あるいは紙に印刷して肥料とともに配布する等してご活用ください（図3）。

QR コード自体に肥料の成分含量が保存されます※。製造ロットが変わる等で、肥料成分含量が変わった場合には、新しく QR コードを発行いただければ、データを更新する事が可能です。

※本アプリ運営主体は、肥料成分 QR コード作成アプリでご入力いただいた値を収集・保管しておりません。



図3 肥効表示 QR コードの読み込み（イメージ）

*QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です

免責事項

農研機構は、利用者がこのアプリを利用したこと、あるいは利用できないことによる結果について、一切責任を負いません。